

2021年8月13日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2021年5、6月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している
長野県内景気	厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている
5月の生産動向	生産は増加している
6月の個人消費	乗用車新車販売は4カ月ぶりに前年を下回る
6月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を下回る
6月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月連続で前年を下回る
6月の雇用情勢	有効求人倍率は10カ月連続で前月を上回る

今後は、新型コロナ変異株の広がりによる、経済への影響を注視する必要がある

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

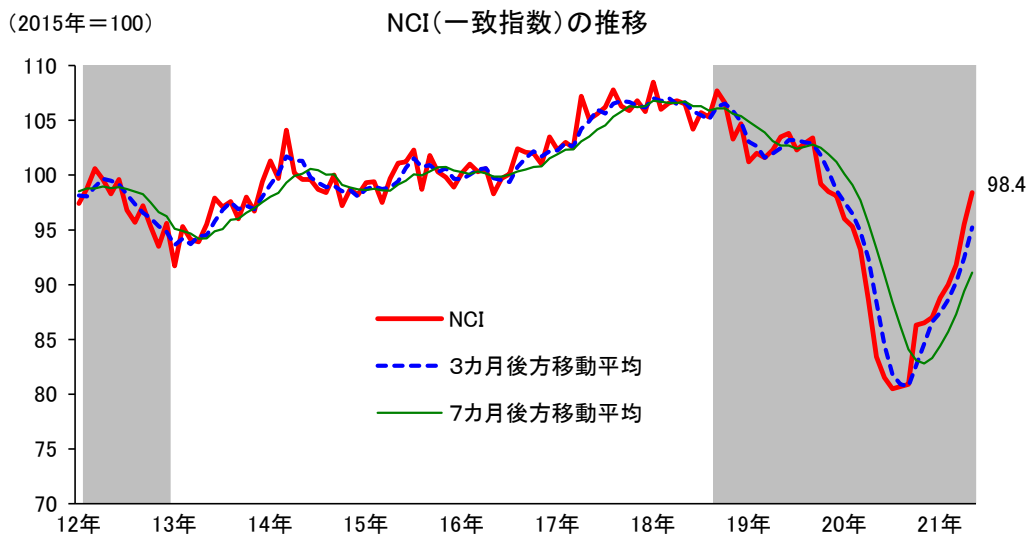
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

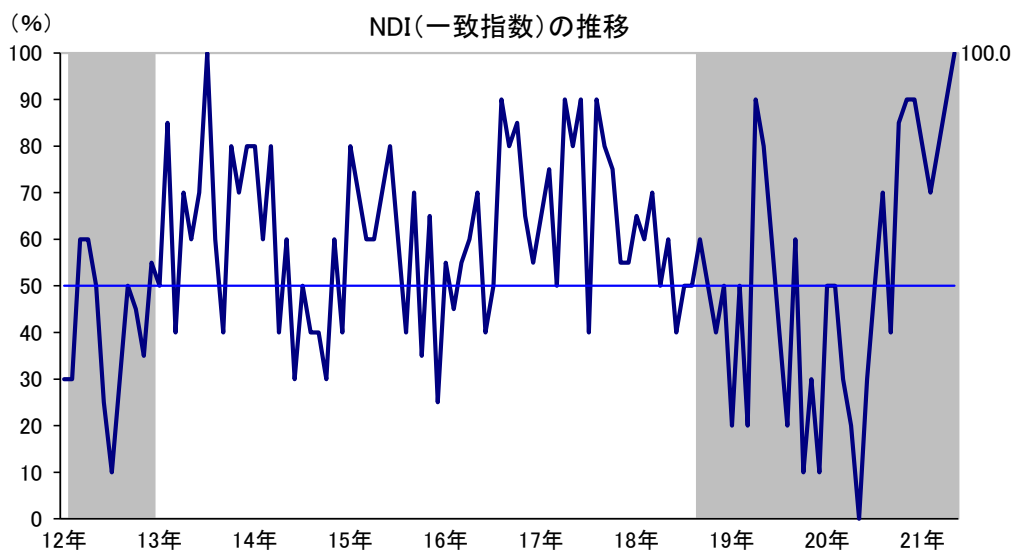


景気動向指数

- ・5月のNCI(一致指数)は、98.4と前月と比較し+2.9ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+2.8ポイントと8カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同+1.8ポイントと6カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、100.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を8カ月連続で上回った。



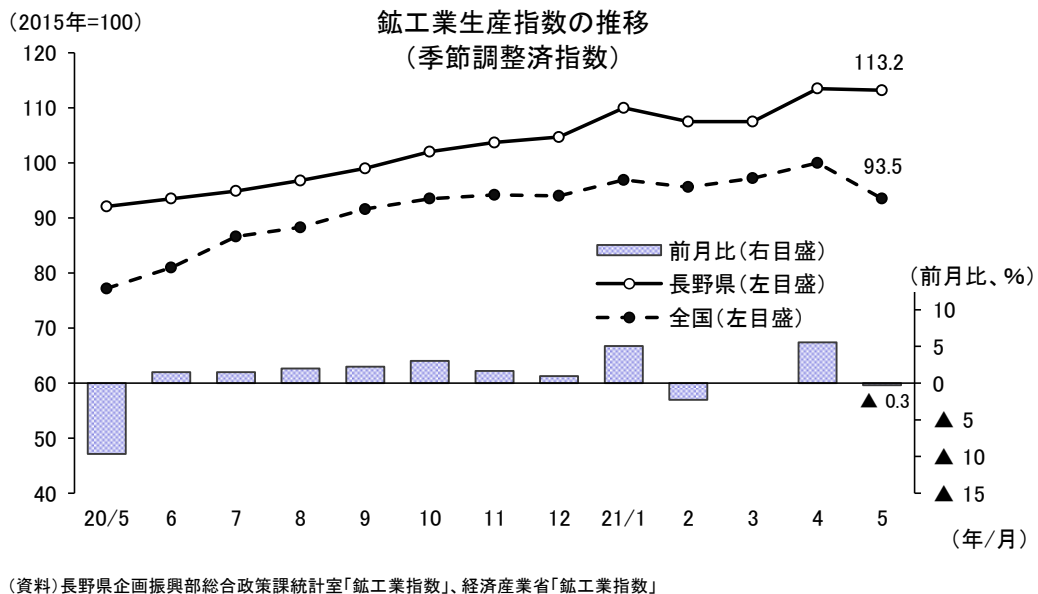
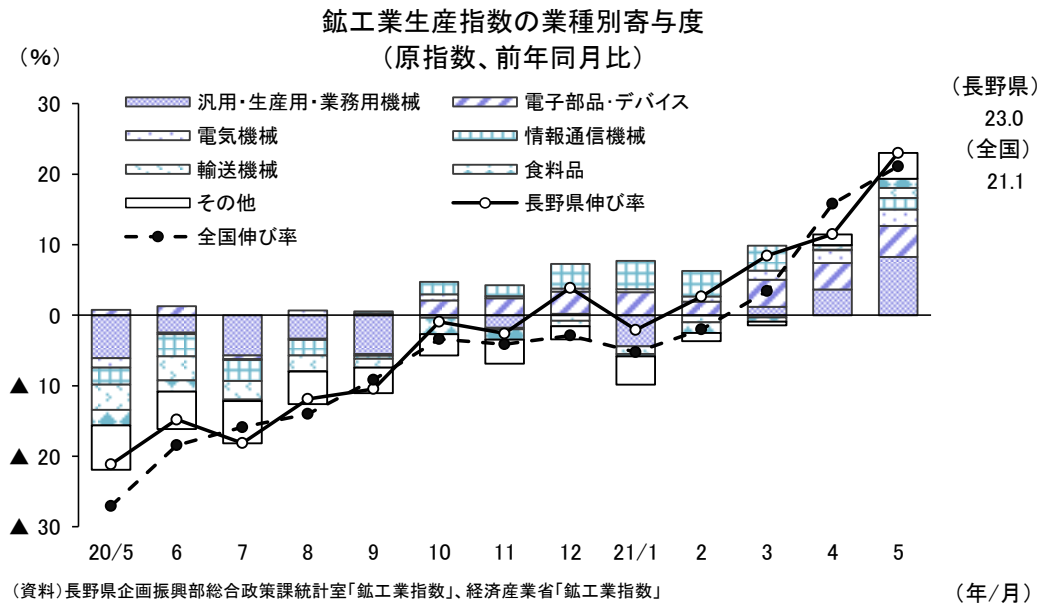
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

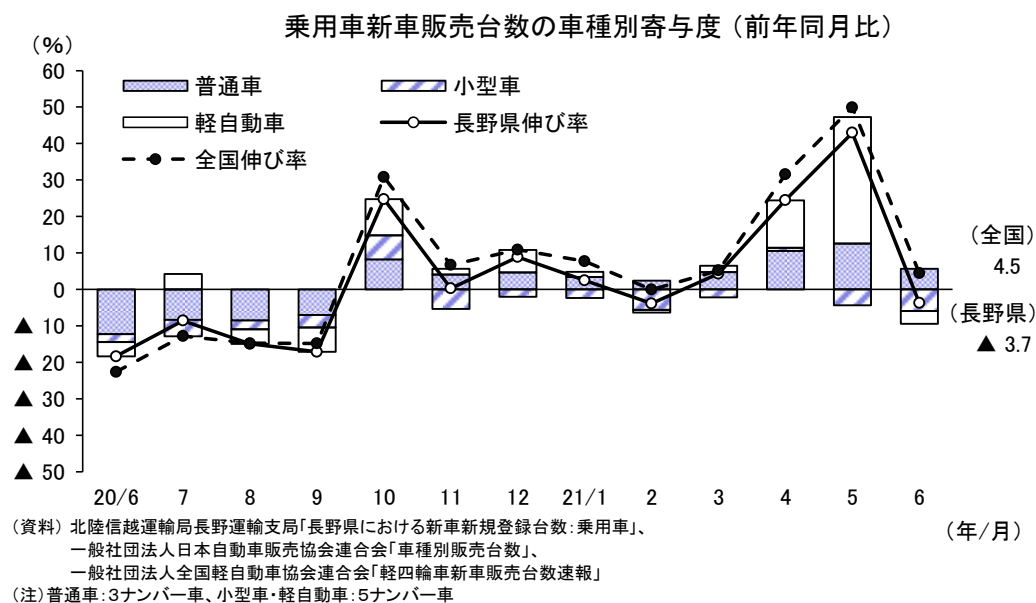
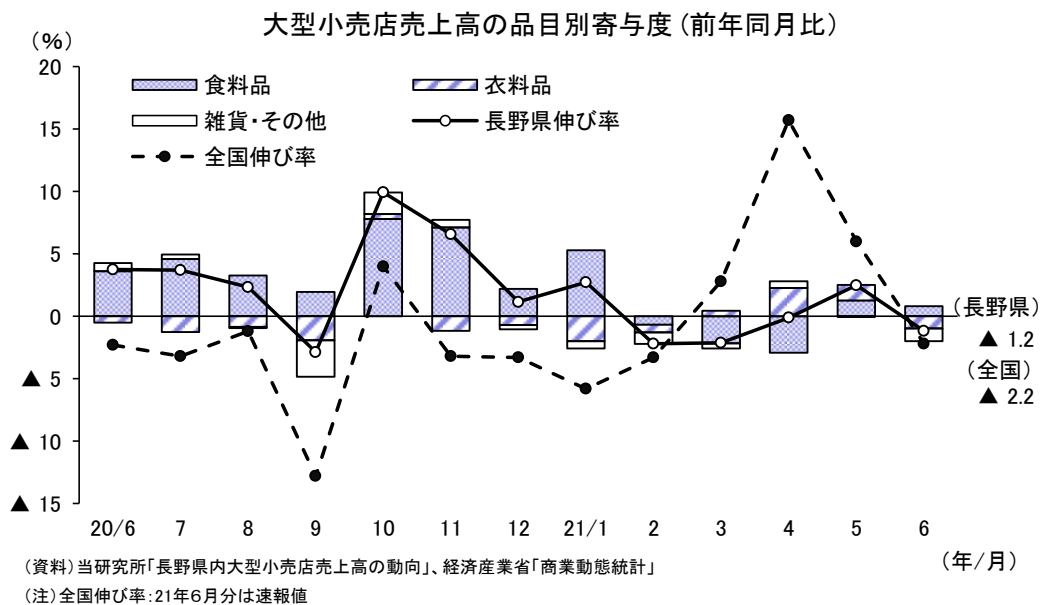
生産は増加している

- ・5月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+23.0%、季節調整済指数が前月比△0.3%となった。
- ・季節調整済指数は3カ月ぶりに前月を下回ったものの、原指数は4カ月連続で前年を上回った。中国や米国を中心とした外需の増加や内需の持ち直しにより、生産は増加している。
- ・主要業種別にみると、産業用ロボットや半導体・フラットパネル製造装置等の「汎用・生産用・業務用機械」や電子部品等の「電子部品・デバイス」など、全ての業種で前年を上回った。



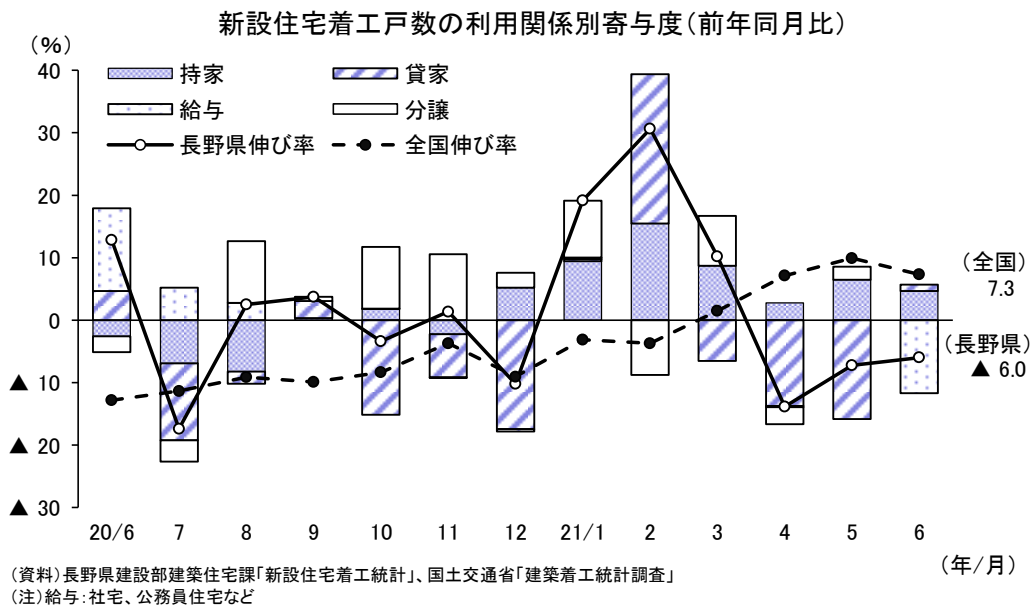
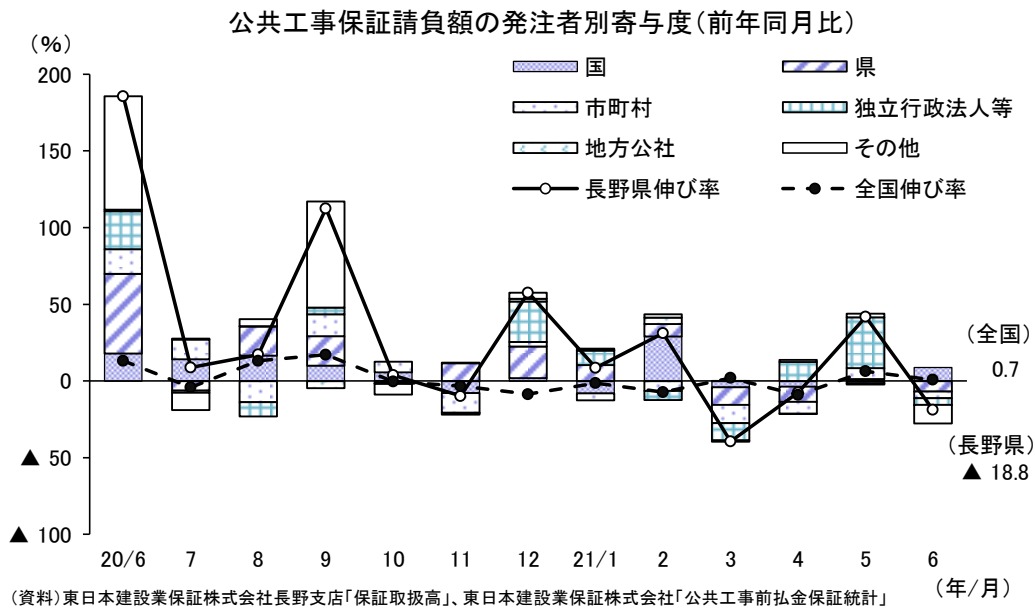
乗用車新車販売は4カ月ぶりに前年を下回る

- 6月の大型小売店売上高は、前年同月比△1.2%（売場面積調整前）となり、2カ月ぶりに前年を下回った。食料品は、新型コロナウイルス感染防止のための内食需要が続いているほか、飲料などの売り上げが増加し、同+1.0%となった。衣料品は、外出控えなどによる来店客数の減少で、同△15.0%だった。雑貨・その他は、化粧品などが振るわず同△9.9%だった。
- 6月の乗用車新車販売は、半導体部品の不足による納車遅れの影響が一部でみられ、前年同月比△3.7%と4カ月ぶりに前年を下回った。SUVの販売が好調な普通車は同+21.1%と9カ月連続で前年を上回ったが、小型車は同△20.4%と2カ月連続で、軽自動車は同△7.9%と4カ月ぶりに、前年を下回った。



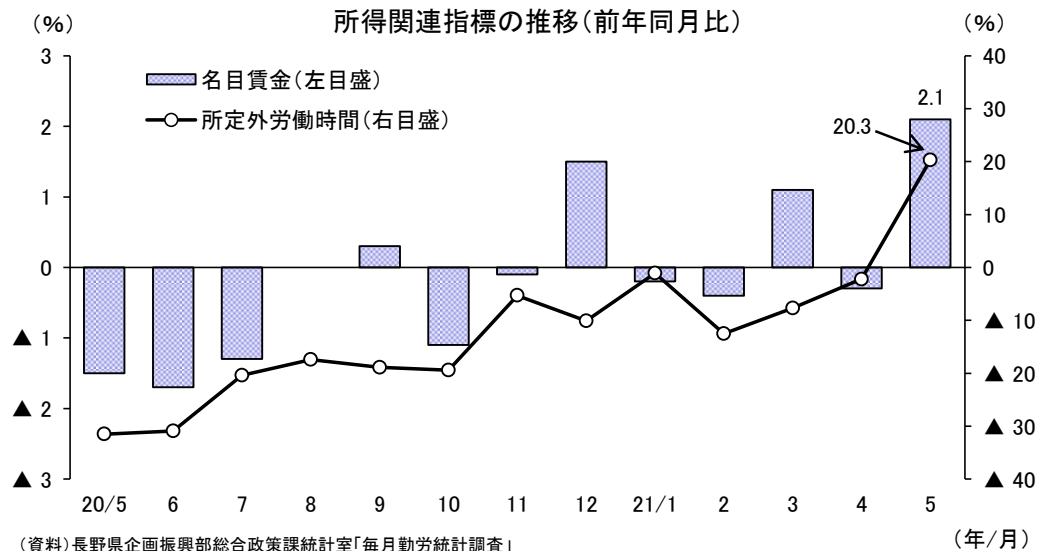
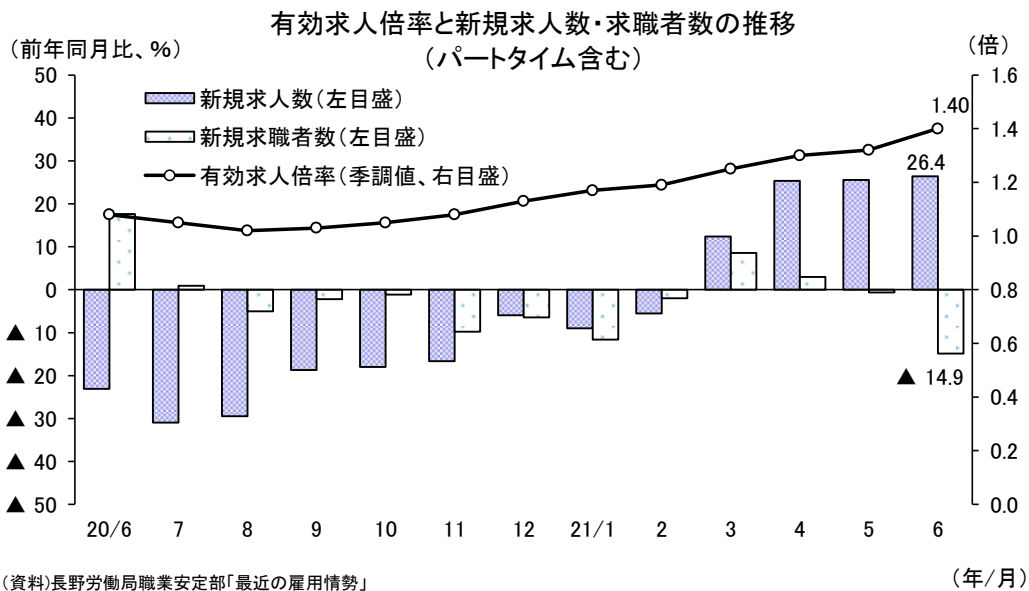
公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を下回る

- 6月の公共工事保証請負額は、前年同月比△18.8%の346億2,600万円となり、2カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、国が同+57.3%と増加したものの、県が同△25.3%、市町村が同△19.5%、独立行政法人等が同△49.7%、その他が同△46.1%と減少した。
- 6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△6.0%の1,290戸と3カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同+9.0%、貸家が同+3.8%と増加したものの、給与が同△99.4%と減少した。



有効求人倍率は10カ月連続で前月を上回る

- 6月の有効求人倍率は前月比+0.08ポイントの1.40倍と、10カ月連続で前月を上回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比+26.4%となり、4カ月連続で前年を上回った。このうち常用は同+20.1%、パートは同+17.1%となった。主要産業別では、製造業が同+49.4%、宿泊業・飲食サービス業が同+33.2%、医療・福祉が同+14.1%、建設業が同+10.3%、卸売業・小売業が同+8.6%など、多くの業種で前年を上回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比△14.9%と2カ月連続で前年を下回った。
- 5月の名目賃金は前年同月比+2.1%と2カ月ぶりに前年を上回り、所定外労働時間は同+20.3%と14カ月ぶりに前年を上回った。



(注)1. いずれも従業員規模5人以上の共通事業所のみを集計
2. 名目賃金の前年同月比は、きまって支給する給与の実額比較による

県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は9カ月連続で全国を上回る

- ・6月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比+0.19ポイントの1.26倍、東信が同+0.33ポイントの1.38倍、中信が同+0.24ポイントの1.15倍、南信が同+0.37ポイントの1.27倍となった。2カ月連続で全ての地域で前年を上回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、大町が1倍を下回ったが、3年10カ月ぶりに全ての職業安定所で前年同月を上回った。
- ・長野県の有効求人倍率は9カ月連続で全国を上回り、順位は前月から6つ上げ9位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(21年6月)

地域	北 信(1.26) (前年同月比0.19)				東 信(1.38) (前年同月比0.33)		中 信(1.15) (前年同月比0.24)			南 信(1.27) (前年同月比0.37)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.30	1.26	1.10	1.23	1.29	1.47	1.17	1.66	0.88	1.31	1.30	1.23
前年同月比 (ポイント)	0.06	0.27	0.22	0.47	0.38	0.27	0.24	0.21	0.28	0.43	0.53	0.18
うち常用	1.16	1.22	1.07	1.10	1.07	1.36	0.98	1.53	0.84	1.20	1.14	1.16
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.01	0.24	0.20	0.39	0.23	0.24	0.13	0.24	0.25	0.41	0.41	0.16

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

